

2023 年度 海外研究員成果報告書

工学部 建築学科 講師 金由羅

出張期間

2023 年 4 月 2 日 ~ 2024 年 1 月 2 日

2024 年 1 月 12 日 ~ 2024 年 3 月 15 日

研修先

全北国立大学 韓屋学科

361 Taebong-ro, Gochang-eup, Gochang-gun, Jeonbuk State, 54596 Republic of Korea

研究課題

日式住宅からみた近代住宅と農村計画の変転について

研修成果

全北国立大学韓屋学科で全羅北道を拠点に以下の研究活動を行った。

・ Hwahori の熊本農場村調査

1910年あたりに作られた Hwahori の熊本農場村のデータを集め、開発当時の姿と変化を調査した。現在、村に復元されている一部の建物に対して、復元状態の実態調査を行った。その復元は専門家による十分な調査の上に実行されたものではなかったと判明した。当初の姿を明らかにするために、過去の写真、住民のヒアリング、過去に行われた調査記録、官庁に残っている当時の資料を集めた。また、日本にある熊本農場の情報を集め、韓国で集めたデータと合わせ建物の情報や農村開発の過程を読み取る作業をしている。

・ Gaejeong の LeeYoungchun 博士の邸宅調査（元熊本別荘）

現在、展示館として使われ住宅の平面を失ったため、2005年日本の研究者が行った実測データと過去住民の親族からのリアリングを基に当初の使い方などを調査した。また、展示館として工事する前に行った2016年の調査報告書の内容を Lee 博士の記録、日本の状況と日本在来木造住宅の特徴などと合わせて検討している。建物の竣工年度などでの違う可能性を示した。

・ Gunsan の広津家屋

現在は復元工事のために公開していない内部を調査した。また、当時の敷地外の道路計画図面などの資料を入手、建物の竣工時期の時期、改築の有無の可能性を示した。また、建物の材料からその輸入経路や時期を調べている。畳の厚み、雨戸の使いで日本ではイレギュラーな所を見つけ、韓国内での日本住宅の特徴にあたるか検証している。

- ・日式住宅での暖房設備とそれによる変化

事例から韓国の暖房設備のオンドルの日式住宅での使い方を調べた。また、韓国、日本内での練炭の生産と流通過程と日本建築界で行われたという「改良オンドル」に関する記録を集めた。結果として一般的に1950年代から韓国内で広まったとされている練炭はその以前に韓国半島内で使われたとわかった。練炭暖房の有無で施工時期を1950年以降だと判断されたものに対して、その以前の改良オンドルである可能性を示した。

- ・海外の学会での発表 Colonial Period の建物に関する発表の多い The International Association for the Study of Traditional Environments で1年間の調査内容をまとめ Working Paper と一緒に発表を行った。負の歴史資源の復元実態とその建物が持つる歴史的価値について Feedback をもらった。